【がん種】 大腸癌
【レジメン名】 FOLFOXIRI②13コース目～
【登録番号】 160547
【1コースの期間】 2週間
【総コース数】 進行・再発：PDまで（FOLFOXIRI①1～12コース目 終了後から）
【催吐性リスク】 軽度：5-FU
【抗がん剤の組織障害性】 イリタント（炎症性）：5-FU
【投与量に制限のある薬剤】 なし
【主な有害事象】 編集中

【必要な検査】 編集中
【根拠論文】 J Clin Oncol 25:1670-1676, 2007.

【点滴の時間】 [day1～]49時間35分
【費用】 編集中
【その他】 対象患者：UGT1A1に*6(*6/*6), *28(*28/*28), *6(－/*6)+*28(－/*28)のいずれかの多型がない. 原則、CVポートを増設して治療を行う.
携帯型ポンプの使用可否：CVポートを造設している, 外来で治療する場合（入院導入後に外来へ移行する場合には初回入院時も使用可能, 外来に移行せずに入院で治療を継続する場合には使用不可）.

携帯型ディスポーザブル注入ポンプ使用時

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日					
					1	2	3	4	…	14
1	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ＆フラッシュ	○					
2	生理食塩液 100mL デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 B 1 V	側管	30分	○					
3	5%ブドウ糖液 250mL レボホリナート点滴静注用「ヤクルト」	1 B 200 mg/m2	側管	2時間 フィルター使用	○					
4	5-FU注	3200 mg/m2	メイン	48時間 携帯型ポンプ使用	○					

携帯型ディスポーザブル注入ポンプ未使用時

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日					
					1	2	3	4	…	14
1	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ＆フラッシュ	○					
2	生理食塩液 100mL デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 B 1 V	側管	30分	○					
3	5%ブドウ糖液 250mL レボホリナート点滴静注用「ヤクルト」	1 B 200 mg/m2	側管	2時間 フィルター使用	○					
4	生理食塩液 500mL 5-FU注	1 B 3200 mg/m2	側管	48時間 フィルター使用	○					